

文化資源を活かすまちづくり検討調査

■調査実施地域:鹿児島県南さつま市 ■調査実施者:南さつま市

<調査の目的>

- ・ 歴史まちづくりに取り組む多くの地域において、地域活性化のために歴史的建造物が観光資源として活用されている。しかし、当該地が住宅地である場合、観光地化による住環境の悪化や人々の営みの変化による歴史的風致の喪失、また無計画な開発による商業地化や隣接する商業地の衰退などが懸念される。
- ・ 今回、歴史的建造物が多く残る住宅地(加世田麓地区)と隣接する中心市街地(商業地)を繋いだ一体的なまちづくりに取り組むことによって、住宅地の歴史的風致の維持向上と隣接する中心市街地の活性を促進する。

<調査内容>

1. 加世田麓地区の歴史的風致の維持向上と歴史的建造物の活用
2. 歴史的まち並みが良好に残る住宅地と中心市街地を人々が行き交うシステムの検討
3. 地域住民を対象としたワークショップ等の開催

【調査の成果(主要なもの)】

1. 歴史的風致維持向上に向けた建造物景観形成基準・まちづくりモデルの検討
 - (1) 歴史的建造物群の特徴及び地域の課題を確認
 - (2) 景観形成基準(案)策定
2. 歴史的建造物の適切な維持管理に向けた普及啓発方策の検討
シロアリ対策、生垣・庭園の維持管理
3. 歴史的建造物の観光資源としての活用に向けたモデル・計画の策定
まちなみの管理施設計画を策定
4. 加世田麓と中心市街地とを人々が行き交うシステムの策定
 - (1) 保存地区と誘導地区の設定
 - (2) 起点・拠点・地区施設の整備及び運営方策の策定
5. 資金の循環システムの検討
6. 加世田歴史まちなみ懇話会の組織化及び開催(3回)
7. 加世田麓地区まちづくりワークショップの開催(6回)
瓦版発行による情報の提供・共有